

①



慈光

冬 号

- ①お知らせ
- ②春彼岸のお知らせ
- ③慈光寺近況
- ④住職のコラム

修正会

○寺院維持年会費 志納のお願い

今年度から、寺院維持年会費 維持費を値上げいたします。経済状況がよくなりならないところ、大変、恐縮ですが、どうかご理解とご協力をお願いいたします。

合わせて春のお彼岸 永代経法要の志納をお願いいたします。また郵便局での自動引落の手続きも承っております。年間の維持費 諸法要での志納を含めた金額を、一括、毎月の引落し、またはご指定の月にご指定の金額を回払いを自動で引落しをすることが可能です。引落しが完了となりましたら、お寺から通知をいたします。不明な点はお寺にお問い合わせてください。

なお、**瑞雲閣【納骨堂】ご利用の方は**、維持費、納骨堂管理費、志納などを含めた納入は不要です。万が一、振込用紙などが同封されていきましたら、その節は大変申し訳ありませんがお知らせください。

○春季彼岸会 永代経法要

春のお彼岸の詳細な日程は、次頁にお知らせしております。慈光寺の今年度はじめての行事ですのび、ぜひお話しください。

日時 三月十九日(土)二十日(日) 午後一時半より

② 春季彼岸永代経法要日程

三月十九日(土) 二十日(日)

午後一時半 読経 法話

※納骨堂 御利用期間

三月十八日(金)～二十一日(月)

午前九時～午後五時

なお、納骨堂御利用期間の十八日～二十一日は、申経 お経を上げるいただけるように住職 衆徒が待機いたします。ただし、**十八日と二十一日**は午前中、不在となる時間がございませう。お詣りご希望のお檀家様には、私どもが不在の時は、後ほど必ずお勤めをしますので、お寺にお伝えください。

※**十八日 十九日 二十日の外詣りはお休み**します。

※おとき 昼食(は法要のある十九日 二十日の両日、樓閣の間ホールにて用意しております。お気軽にお立ち上がりください。

○今後の行事予定 (夏頃まで)

四月一日(金) 午後二時より 定例布教日

五月七日(土) 午後一時半より 子ども花まつり

六月一日(水) 午後一時半より 定例布教日

七月一日(金) 午後二時より 定例布教日

八月十三日(土)～十五日(月) 盆会

八月十五日(月) 午後四時より 納骨堂法要

八月二十五日(木) 午前十時より 北海道教区大会

六月に予定をしていた講演会は、この度は中止をしまして、八月二十五日、慈光寺を会場に、**真宗木辺派北海道教区大会**を開催します。北海道の木辺派寺院、小樽潜龍寺様、新冠法泉寺様、函館錦識寺様の住職様はじめ、御門徒様に広くご参加いただき、本山より御門主をお迎えしての教区大会です。

この度、午後からゲストをお招きして、イベントを予定します。詳細なスケジュールは、追ってお知らせします。



株式会社 極楽堂はなや

札幌市中央区南8条西9丁目

011-561-0909

○慈光寺近況

昨年、慈光寺は開基百年を迎え、新たな歴史となる一年を無事迎えられましたこと、皆様に感謝申し上げます。まだまだ課題は多くありますが、徐々に新たな慈光寺の歴史を造り上げていきたいと決意を新たにしています。

冬期間は、幸い今年の札幌は積雪が少ないとはいえ、道路状況は場所によって走りにくいところがありました。毎年のこととはいえ、皆様にはご迷惑をおかけしました。もう少しの辛抱ですね。

昨年は事業中だったので、いろいろな依頼をお断りしていましたが、今年は私がお寺を開けざるを得ない時間が増えそうです。自坊の法務は最優先ですが、法務のお休みをお願いする場合があります。

四月は木辺派新門主様のご結婚があり、中旬頃にお寺を空けます。六月上旬に真宗連合学会があり、参加予定のためお寺を空けます。また七月上旬頃ですが、京都での講義のためにお寺を空ける可能性があります。

す。本山関係の仕事も入ってきていて、皆様にはご迷惑をおかけいたします。ごめんなさい。

年中行事は、従来の行事を再開していきます。日程を見直しているところもあります。その都度、ホームページでお知らせしていきます。慈光寺のホームページの掲示板や、フェイスブックをご覧ください。す。お分かりいただけると思います。お気軽にクリックしてください。

法事等で、樓閣の間をお気軽にご利用ください。季節に左右されずにご利用いただけます。ロウソクお線香焼香用香炭などはお寺で用意しています。供花は、ご予算合わせて用意できますので、お問い合わせください。ホール利用は二万五千円（三時間程度）です。

少人数の葬儀も対応できるようにしております。慈光寺の葬儀用のお飾りを熟知している葬儀社を二社、ご案内しております。博善社 極樂堂とも、安心です。で、事前に話を聞きたい方は、お寺にお問い合わせください。

③



株式会社

博善社

札幌中央区南14条西7丁目

011-512-1111

住職さんにきいてみよう その34 木辺派本尊

最近、仏壇を新たに入れ替えられるお檀家様が増えています。生活スタイルに合わせて、従来よりも小さなタイプの仏壇を求められています。仏壇がないご家庭が多くなっていますが、お檀家様からは新しい仏壇について問い合わせがあり、ありがたいことです。

そこでよく聞かれるのが、「慈光寺さんはお西の仏壇ですか？お東の仏壇ですか？」です。真宗（浄土真宗）である慈光寺の所属する派は、何度かお話をしていますが、「お西」でも「お東」でもない、独自の歴史を歩んできた「木辺派」です。その木辺派の仏壇があるかないかですが、残念ながら「木辺派」の仏壇はありません。仏壇の作りを「お西系」「お東系」と定めたのは後のことです。木辺派の仏壇は、中に置く仏具の形状に特徴があります。

慈光寺では「お西系」の仏壇をご案内することが多いのですが、ご家庭用として仏壇を入れられるときは、木辺派本山錦織寺より、本尊「阿弥陀如来」の絵像を下附（本山からいただくこと）されることをお勧めしております。お仏壇のお飾りの仕方は、慈光寺のホームページに掲載しておりますので、参考にご覧ください。

ださい。絵像とは、掛け軸になった「阿弥陀如来」のことで、金糸で表装されています。最近の仏壇は上段に小さなライトが付いているので、点灯すると明かりがきれいに阿弥陀様を照らし浮き上がって見えます。

お仏壇を入れるとき真宗では、「魂抜き」「魂入れ」はいたしません。お仏壇を入れるときだけに「入仏式」をいたします。特別な法要ではありませんが、お飾りをして、これからお仏壇と生活をするご縁を大切にす法要です。入仏式の段取りなど、ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

なお本尊「阿弥陀如来」の絵像（掛け軸）ですが、本山より下附いただく際の冥加金が、諸般の事情で今年から値上がりしてしまいました。仏壇の大きさによって冥加金が異なりますので、詳しくは慈光寺にお問い合わせください。

慈光寺 俳壇

- ・ 袖振れば善人ばかり彼岸西風
- ・ 春風を独り占めする橋の上
- ・ しっかりと浪速の町の紫木蓮

及川ミチ子
吉野美枝子
八力淳子

少しは落ち着いたように思いましたが、やっぱりごたごたです。春になると、急に忙しくなるのは毎年のことです。お寺としては1月の修正会以外に、2月まで大きな行事はありません。比較的、時間に余裕があるかな思っていたのは大きな間違いです。これから色々と予定が入っていて、どうなることか。合掌